



はまなすの実



— 第 22 号 —

北海道文教大学同窓会
つるの会
恵庭市黄金中央5丁目196番1
北海道文教大学内
TEL(0123)34-2515
発行責任者 後藤田倫子
平成26年1月31日



写真左3枚：宝物プロジェクトの写真
写真右3枚：からだ元気プロジェクトの写真

はまなすの実 第22号 ～記事一覧～

- 1.2.3P 平成24年度交付分 教育助成金 事業報告
- 4.5P 日高支部会 開催
- 6P 大学祭 給食イベント
- 7.8P よりみち vol.8 / 同窓生の書籍紹介 / OB・OG 訪問
- 9P 平成25年度事業経過報告 / 収支報告
- 10P 同窓会総会 / 掲示板 / 編集後記

「つるの会」からのお知らせ ～同窓会室のご案内～

同窓会室は北海道文教大学1号館2階にあります。
月・火・金に開放されております。
お気軽に、お越しください。
月・火・金 10:00～14:00
(水・木・土日祝日はお休みを頂いております)
TEL (0123)34-2515
FAX (0123)25-5350

平成 24 年度交付分 教育研究助成金 事業報告

「2012-01 からだ元気プロジェクト」

北海道文教大学健康栄養学科 1 期 須合 幸司

【教育・研究目的】

運動・栄養・休養の指導を行う「からだ元気プロジェクト」が及ぼす、児童の生活習慣改善効果を検討することを目的とした。

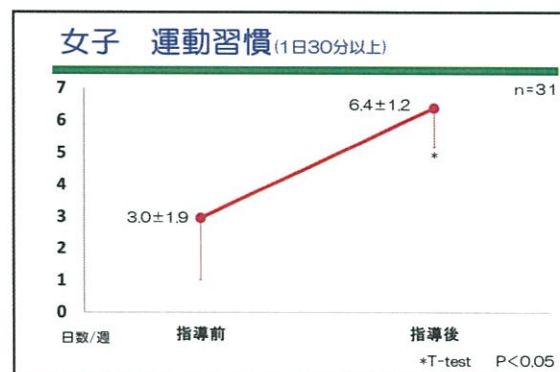
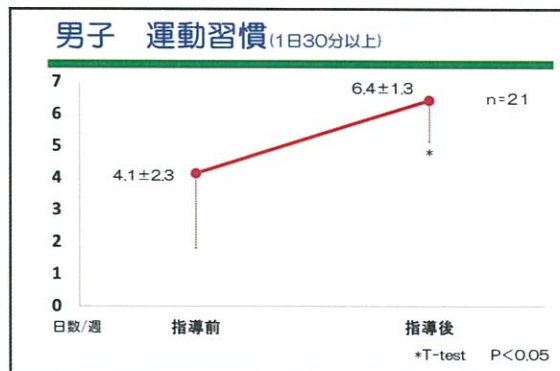
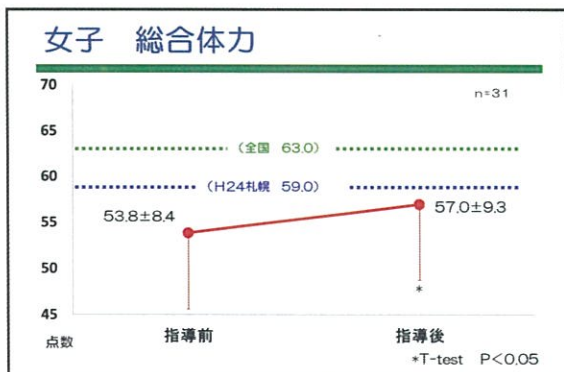
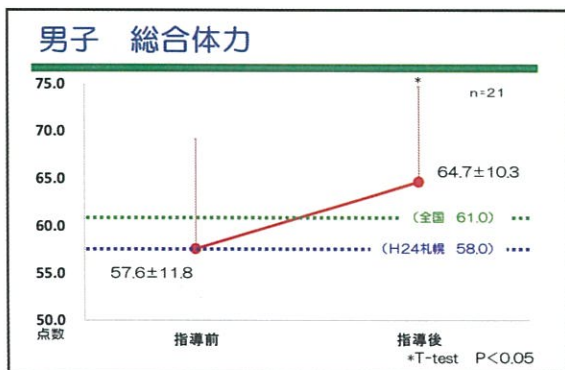
【内容】札幌市内 A 小学校 6 年生の男子 21 名、女子 31 名を対象に 12 週間で下記のように指導を行った。

- ① バランスの良い食事について
- ② スナック菓子と甘い飲み物について
- ③ 健康と運動について
- ④ スポーツと食事のタイミング
- ⑤ 成長と睡眠
- ⑥ 体重の正しいとらえ方について
- ⑦ カルシウム・鉄分について
- ⑧ 生活の記録（歩数・食事・排便・運動時間）



【成果1】体力の向上

総合体力トータルスコアにおいて、男女ともに体力が有意に向上した。



【成果2】運動習慣の改善

1 週間で体育以外に 30 分以上運動する日が男女ともに有意に改善した。

【成果3】排便習慣の改善

排便回数において男子が介入前 5.4 回/週、介入後 6.6 回/週、女子が介入前 4.3 回/週、介入後 6.4 回/週と男女ともに有意に改善した。

【まとめ】

男女共に体力が向上したのは、体育以外に体を動かす日が多くなったからと考える。また、排便は体を動かすことによる腹直筋の発達や、運動量の増加による食欲増進により、米飯量が増加した結果、便が増加したと考える。これらの結果より、からだ元気プロジェクトは、小学 6 年生児童の運動習慣の獲得及び排便習慣の改善に寄与すると考えられる。今後は、継続研究し、再現性の有無を確認していく。

なお、本研究は第 60 回栄養改善学会で発表した。

教育・研究助成についてお知らせ

北海道文教大学同窓会「つるの会」では、有能たる卒業生の輩出を促すとともに、つるの会会員の資質の向上と社会貢献を促し、ひいては大学発展に寄与することを目的とし、北海道文教大学各学部・学科における各種教育・研究及び会員の皆様が行う研究に要する費用の助成をしております。（教育・研究助成の申し込み方法などの詳細は同窓会ホームページをご確認ください。）

「2012-02 タカラモノプロジェクト」

北海道栄養短期大学食物栄養学科 2期 小野 幸子

【教育・研究目的】

農産物や漁業資源以外にも、この自然界にはたくさんの宝物が埋まっていると考えています。モノのない時代、先人たちが工夫しながら食べることでたくましく生き抜く糧とした野草もその一つです。

飽食の時代の今、雑草として捨てられている野草を栄養分析し、現代人にもおいしく食べられる料理方法を提案する事で、再び光をあて、新たな付加価値を付ける試みです。

【成分分析結果】

スベリヒユ・イタドリ の栄養価 100g当たり

(株)食環境衛生研究所調べ

食品名	蛋白質 g	脂質 g	炭水化物 g	ナトリウ ム mg	エネルギ ー KCal	ビタミン A(βカロ テン) μg	ビタミン C(アスコ ロビン酸) mg
スベリヒユ	1.6	0.5	1.5	6	17	2500	1
イタドリ	3.8	0.4	5.5	1	41	580	2
こまつな	1.5	0.2	2.4	15	14	3100	1
キャベツ	1.3	0.2	5.2	5	23	49	41
キュウリ	1.0	0.1	3.0	1	14	330	14
ブロッコリー	4.3	0.5	5.2	20	33	810	120

※小松菜と比べても栄養価は変わりなく、キャベツ・キュウリに比べビタミンAはスベリヒユが多い。

【成果1】

市民へ料理講習会実施・小樽食育研究会発表



【成果2】 企業との連携

ルスツリゾート管理栄養士の作井氏、和食料理長後藤氏、洋食担当安藤氏、製パン担当生江氏の協力を得て商品開発を進めました。

現在、ルスツリゾートではアンチエイジングへの取り組みに力を注いでおり、北海道の食材を中心に、健美食等様々なコース料理を用意しています。

その一品として、好みに合わせた料理法で提供していただくことが可能です。イタドリは5～6月に提供です。

興味のある方はルスツリゾートアンチエイジングまでお問い合わせください。

<http://www.ar-rusutsu.com/>



【まとめ】

今回の研究結果をもとに、地域に周知し、地元にも宝物になりうるものがあるという「気づき」を感じていただいたことは、大きな成果です。

今後、食文化の一つとしてますますの拡大が期待される。



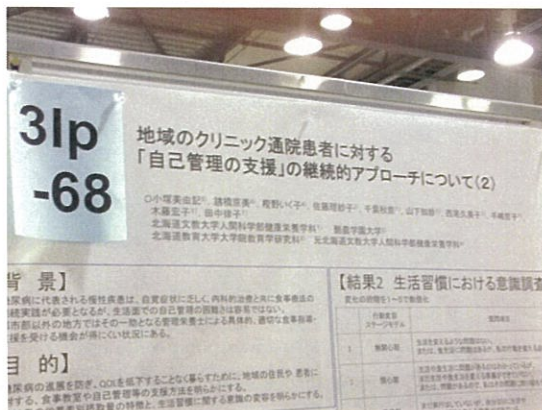
4月—雪解けとともにイタドリが芽吹き始めます。

7月—このころからスベリヒユが取れ始め 10月頃までが最盛期です。

平成 24 年度 その他の助成金交付研究

「2012-03 糖尿病及び脂質代謝異常の疾患を有する者に対する支援方法に関する介入研究」

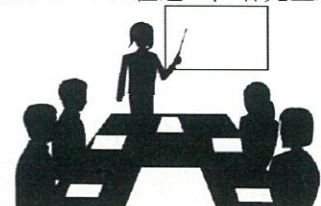
人間科学部 健康栄養学科 手嶋 哲子 講師



「2012-04 北海道における精神科作業療法の歴史を振り返る」

人間科学部 作業療法学科 池田 官司 教授

平成 25 年 3 月、北海道の精神科作業療法の創生期に活動した、深澤孝克氏、安達克己氏、林和之氏、梅田弘氏、計 4 名へのグループインタビューを行った。患者さんは管理的に処遇されることが多かったが、できるだけ開放的に処遇し自由さの中で成長していくようなりハビリテーションを創生していった経過が、各先生から生々しく語られた。



日高支部会 開催

平成 25 年 9 月 21 日（土）に、つるの会 日高支部会が新冠町にて開催されました。支部会開催前の乗馬体験は、にいかっぷホロシリ乗馬クラブにて行われ、ほとんどの参加者が乗馬初体験であり、とても好評でした。また、レコード館では先輩方には思い出深いレコードを視聴したり、ジュークボックスの中身を実際に見ることができるなど、普段体験することのできない経験をさせていただきました。

新冠温泉レコードの湯での懇親会では、日高支部長の有田さんによる新冠町の紹介が行われました。仮装とマイクパフォーマンスは非常に秀逸で、会場を沸かせて下さいました。

みんなと過ごす楽しい時間は一瞬で、支部会は盛会裏に終わりました。



「日高支部会を終えて」

さわやかな秋晴れのなか、新冠町に於いて 17 名の参加者により第 6 回日高支部会を開催いたしました。

今回は初めての試みで体験学習を組み込み、新冠町・馬産地ならではの乗馬体験では、皆さん最初は緊張されていましたが、コースを半周したあたりからすっかり乗馬姿も様になり、馬の上で「はい、ポーズ」と言いながら写真に納まりました。

レコード館では、日本最大級のスピーカーでレコードを視聴し、初期のロウ管のレコードや様々な型の蓄音機の奏でる音色を楽しみました。レコードを知っている世代は

懐かしく、知らない若い世代は珍しく、時の移り変わりを感じていたようであり、どちらも貴重な体験となったと思われます。

興奮覚めやらぬうちに、新冠温泉・レコードの湯での懇親会、とても盛り上がり、楽しい時間を過ごせたと思います。

お世話係としては、いたらぬ点多々あったと思いますが、まずは無事に日高支部会を開催し、終えることが出来たことに参加されました皆さまには心より感謝申し上げます。

日高支部長 食物栄養学科 15 期 有田 英子

「支部会 in 日高に参加して」

支部会当日は、仕事の都合で懇親会から参加させていただきました。

今回の参加で初めて日高支部長の有田さんが同窓生であることがわかり驚いています。

というのも、家が近所で、子供は同級生なのです。

後藤田会長の挨拶・乾杯に続き有田さんが行った寸劇風の新冠紹介は、手が込んでいて準備が大変だったと思います。

参加者の自己紹介では、在学当時の寮生活、坂道の

通学路、実習や近況報告と話に花が咲いて、にぎやかでした。

小松副会長からの挨拶では、毎年、総会出席に合わせ同期会を行っているお話を聞き、暫く会っていない札幌の友人達にも思いを馳せました。是非、どなたか同期会を企画して下さい。

今回は新冠町だけでも12名の同窓生がいる所、3名の参加で残念でした。機会があれば新冠町の同窓会も企画してみませんか？有田支部長よろしく。

食物栄養学科 11期 澤谷 美穂子 (旧姓 吉田)



「日高支部会に参加して」

爽秋の空のもと開催された、日高支部会。

同窓会と乗馬体験という馬産地日高ならではの組み合わせに興味を、そして同窓生にお会い出来るという期待と緊張を胸に参加させていただきました。

先輩たちの中で、緊張しながらも乗馬を楽しみ、懇親会での先輩による本格的な日高新冠ガイドで地元の魅力を再発見する。そんな充実したひとときでした。

さらに、身近にもたくさん同窓生がいることを知り、

ふるさと日高で働く卒業生・管理栄養士の一人として、嬉しく、心強くなりました。

これからも、大学や先輩達から学んだ「もてなしの心」を大切に食を通じて人々に貢献していけたらと思います。今後の大学・同窓生の皆様のご活躍と発展を心より祈っております。

貴重な機会をいただき有難うございました。

健康栄養学科1期 坂本 知美

同窓会に出席できなかった会員からのメッセージ

浦河暮らしも42年！故郷になってしまいました。海も山もそしてサラブレッド、こんなに沢山の宝物に恵まれています。楽しい同窓会を。

幼児教育学科 8期 一戸 八栄子 (旧姓遠藤)

参加できなくて残念に思っております。支部の活躍のご発展をお祈りしております。

栄養学校 6期 市村 栄子

懇親会案内いつもありがとうございます。

元鶴岡学園の卒業を心から思い、喜ぶことがあります。

食物栄養学科 16期 高品 純子

栄養士出発の地が浦河町でした。日高支部でご活躍の皆さんとお話をしたかったです。

食物栄養学科 2期 牧野 夢津

「渡島・檜山支部会が平成26年度は函館市で開催されることになりました」

私は今回、初めて参加させていただきます。私はこれまでも大学の同級生、先輩、後輩と交流する機会はありませんでしたが、あまり多くはありませんでした。この機会に多くの方々と交流を深め、繋がりを作りたいと考えています。…とまあ、そういう気持ちを持っていても、持たなくても、とりあえず函館の新鮮なイカと一緒に食べながら、お話ししませんか？！多くの方々のご参加をお待ちしています。

渡島支部長 健康栄養学 5期 八重樫 昭徳

大学祭 給食イベント

平成 25 年度 10 月 13 日（日）、大学祭「栄凛祭」の給食イベントにて同窓会メンバーがプレートランチを提供しました。150 食分の食券はすぐに完売。食べに来てくださったお客様は、秋の味覚を楽しんでいました。



お客様の中には「毎年楽しみにしているんだ。」
「今年は食券を買えてほっとした。」などの声をかけてくださる方もいました。

今年は初の試みとして、恵庭、千歳、北広島の農業青年団体『ルーキーズカンパニー』さんから、地元産の新鮮野菜を提供していただきました。今までとは違う、おいしいだけではなく、「地産地消」と「季節感」を織り交ぜたランチを提供することができました。



写真：給食イベントの風景

アンケート調査結果

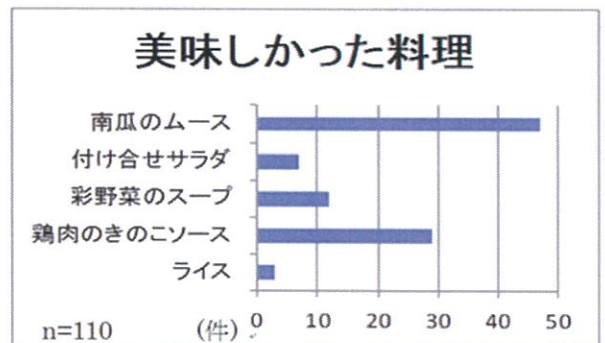
噂には聞いていた、同窓会が提供する給食の人気を目の当たりにしました。食券の販売開始前から食券を確保しようと並ぶ列に、給食提供前から並ぶ列。

給食を食べた皆さまは、プロが作った美味しくて栄養バランスのよい給食に舌鼓を打たれていました。

アンケートから、値段、食事の量ともに好評であったことは、性別や、一般の方と大学関係者の間に差はありませんでしたが、味付けは女性に比べ男性が*少し薄いと感じられたようです。

給食では、舌触りがなめらかな南瓜のムースが大人気でした。アンケートからは、男性に比べ女性が*一般の方に比べ大学関係者らが*提供した献立を『自分でも作ってみたい』と回答されていました。（* $p < 0.05$ ）

（文責：植本 浩司）



上図：給食のアンケート調査結果

よしみち vol.8

北海道の東北部、オホーツク海の中央部に位置し、北海道で最大の湖・サロマ湖を抱えた湧別町にある「味処こいけ鮨し」さんを紹介いたします。

水産加工業に従事していたご主人の孝育さんが、食物栄養学科21期の小池真澄（旧姓：橋本）さんと結婚を機に始めたお店です。

「栄養の知識を生かして、旬のものを出来るだけ多くの食材を使ってお客様に提供すること」を日々心がけているようですが、魚介類だけでなく、湧別産の野菜のおいしさも多くの方に知っていただきたいと、真澄さんは、ジュニア野菜ソムリエの資格も取得されました。

魚介については、流水明けの毛ガニが3月下旬、ウニは4月～5月、6月からは帆立、7月中旬からは北海シマエビが旬を迎え、まぐろ以外は殆どをオホーツク海産のもので提供していただけるそうです。

取材時には、酢でしめたホッケのお寿司を頂きましたが、新鮮なホッケが買付けできるからこそ、大変珍しい逸品でした。

お寿司以外でも旬をとり入れたお通しや、秘伝のタレを掛けた天井、だし巻き卵が好評で要望に合わせてコース料理



も提供します。また、店内は着座が困難な高齢者も利用しやすいよう椅子席を増やし、カウンターでも車いすが利用できる等バリアフリー化も徹底されています。

近くにはチューリップ公園があり、5月になるとチューリップ以外にも五鹿山の桜、サロマ湖の水芭蕉が一斉に咲き始めますので、ドライブには最適です。

会報22号を持参してくださった同窓生へは、地元の旬ネタを一貫サービス(H26年10月末まで)して下さるとのこと。

オホーツク方面へお出かけの際は、こいけ鮨しさんで旬ネタに舌鼓をうってみてください。



【味処 こいけ鮨し】

北海道紋別郡湧別町字中湧別 615-2

営業時間 12:00～14:00/17:00～22:00

定休日 火曜日 電話 0158-62-3774

同窓生の書籍紹介



北海道栄養学校第4期卒業生の深浦京子さんが

「栄養指導の今昔 ～職・食・動・住のすすめ～」を出版されました。

職歴：北海道民生部衛生課技師補、札幌市立中央保健所予防課技師補、東京都立梅ヶ丘病院技師補、都立田無保健所予防課技師、都立松沢病院栄養課長、統括課長、都立看護専門学校・都立保育専門学校講師、(学)駒沢女子短期大学講師、(医)石川記念会理事、新宿石川病院栄養部長、(社)日本栄養士会・東京都栄養士会員、(社)日本臨床栄養協会評議員、(株)企画同人舎取締役管理栄養士、現在に至る。

四六判 172 ページ 通常価格(税込)：1,575 円 株式会社医療経済社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-1 TEL：03-5204-9070 FAX:03-5204-9073

OB・OG 訪問 (1)

[北海道大学病院]に看護師として勤めている、大島千尋さん(看護学科1期)にお話を伺いました。

看護師への道を進んだきっかけは、幼少の頃、お母様から「千尋さん」を妊娠・出産した時の話をよく聞かされていたことが大きいようです。なかでも助産師さんとの関わりを熱く語っていた事が心に残り、人の命を預かる職業の存在に興味があったそうです。



在学中の座学・校内実習・臨地実習をとおし、大島さんが理想とする看護の形が見えてくる中で、幅広い年齢の方たちと関わりを持てる一般病床のある大学病院で働くことを希望し、夢を実現させました。

現在は、消化器外科の入院病棟を担当し、手術前の患者さんがリラックスで

きるような心のサポートや、術後の苦痛を取り除くようなケアを行っています。例えば、患者さんの表情を読み取ったり、自分の気持ちを上手に伝えられない方の思いを引き出すなど、親身な対応を心掛けているようです。

このように、患者さんとの信頼関係を築くためには、多くの時間がかかるということを現場に入って初めて感じたそうです。

また、患者さんから大島さんへ、たくさん声をかけてくれるそうで、その患者さんの笑顔や「ありがとう」の一言に、とても励まされ、力を貰っているそうです。

大島さんの今後の目標は、技術的な向上はもちろんの事、患者さんの気持ちを汲み取り精神面でのフォローが出来る人になっていきたいとのことでした。

大島さんの仕事に対する真摯な姿勢や、思いやりあふれる気持ちは、患者さんにもしっかり伝わっていると感じました。

(文責：大谷 真希)

OB・OG 訪問 (2)

[ふれあいの里グループホームとみおか]でホーム長を務める福田房子さん(食物栄養学科21期)にお話を伺いました。

こちらの施設は、認知症と診断された方が少人数で共同生活を行っています。そこで福田さんは介護福祉士・介護支援専門員の資格を取得し活躍されています。

料理が苦手だった福田さんに「食事の事を勉強すれば、将来結婚生活にも役立つよ。」という両親の勧めもあり栄養短大に入学。卒業後は、一般事務職に従事していました。

その後、結婚し子育てが一段落したころ、体を使って動くことが好きで接客業があっていると感じた福田さんは、単に人とかかわるだけでなく、ずっと続けられる仕事・人の役に立てる仕事がしたいという思いから平成15年介護の世界に飛び込みました。

札幌市内の病院でヘルパーを4年、生活指導員を2年勤め上げた経験と力量をかわれ、平成22年1月に現施設の管理者兼ケアマネージャーとして抜擢され現在に至ります。

ここでは、本部が準備した献立と食材を使って、食事を準備しますが、個々の利用者の体調を熟知しているのは福田さんをはじめとする現場スタッフです。

本部からくる机上のデータによって立てられた献立をそのまま再現してしまうと、現場では歓迎されないものもあり、限られた中で工夫を凝らして提供することも多く、「利用者



にとって一番の楽しみは食事の時間。一食一食を楽しんで貰いたい。」また、「体の仕組み、人の行動について知識があるなしでは大きく違います。学生時代の勉強が役立っていると感じているし、仲間に栄養士がいることも心強く思っています。」とおっしゃいます。

腎臓が弱くむくみがひどかった利用者が、塩分量と水分を調整することで、むくみがすっかり改善されたという体験をして、あらためて食の大切さを認識したそうです。

学生時代は、寮生活時期も含めて実習に次ぐ実習というなかで、特に当時お世話になった中矢先生には、友達も一緒にお宅にお邪魔させて貰うなど、濃い時代を過ごさせてもらったといいます。

「4年制になり理学や作業分野の後輩も社会で活躍しているのは頼もしいですね。」とおっしゃる福田さんからは、最後に「利用者は好きで認知症になったわけではなく、一人の人として接しています。家庭では対応できない部分を補うことが仕事です。利用者がその人らしく生きるプランを立てて、気持ちよく過ごしてもらうことが大事だと思っています。」という、入所者のご家族にとっても心強いお言葉を頂きました。

(文責：山本 由香子)

平成 25 年度事業経過報告

1. 同窓会名簿の整理 ～ホームページを活用し最新情報収集～
2. 卒業生への記念品 ～ネームペン 555 本を贈呈～
3. 同窓会総会及び入会式・卒業祝賀会
 ～平成 25 年 3 月 16 日 札幌グランドホテルにて開催～
4. 会報の発行 ～平成 26 年 1 月 31 日～
5. ホームページの更新 ～同窓生の活躍紹介、行事案内・報告～
6. 支部会活動 ～平成 25 年 9 月 21 日 日高支部会を新冠町にて開催～
7. 大学祭への協賛及び出店 ～平成 25 年 10 月 13 日 給食レストランの売り上げを大学祭実行委員へ寄附～
8. 教育研究助成金 ～正会員 1 件、大学教職員 2 件へ交付～

平成 25 年度決算見込み

平成25年度決算見込み

自 平成25年3月1日 至 平成26年2月末日

収入の部				(単位 円)
科 目	予 算	決 算	備 考	
前年度繰越金	6,325,080	6,325,080		
会 費	10,200,000	12,360,000	24年度 63名×20,000円=1,260,000円 25年度 555名×20,000円=11,100,000円	
雑 収 入	500	411	普通預金利息	
計	16,525,580	18,685,491		

支出の部				(単位 円)
科 目	予 算	決 算	備 考	
同窓会総会	1,000,000	773,504	総会会場費、入会式及び卒業祝賀会費	
祝賀会及び入会式				
卒業記念品費	1,800,000	1,281,105	平成24年度卒業生分 既製(279本) 別製(133本)	
印刷費	600,000	530,000	会報印刷、総会出欠用返信葉書印刷	
通信費	1,000,000	900,000	電話代、切手代、会報発送料金	
事務消耗品費	700,000	470,000	事務用品、コピー機リース代	
会議費	500,000	320,000	役員会、三役会、財務委員会、委員会(会報及びホームページ)	
交通費	1,200,000	900,000	役員会、三役会、財務委員会、会報及びホームページ委員会	
アルバイト費	800,000	820,000	アルバイト費(2名分)	
ホームページ管理費	252,000	252,000	ホームページ制作費及びデータベース管理	
支部会開催費	550,000	353,248	懇親会費、往復はがき及び印刷代	
教育研究助成金	1,500,000	1,362,777	参加者交通費及び宿泊費	
大学祭への協賛費	40,000	40,000	同窓会員(1名)、健康栄養学科、作業療法学科	
大学祭への出店	100,000	91,957	大学祭協賛金	
予備費	500,000	0	給食食材費、装飾用品、大学祭手伝い交通費	
次年度繰越金	5,983,580	10,590,900		
計	16,525,580	18,685,491		

平成 26 年度予算 (案)

平成26年度予算(案)

自 平成26年3月1日 至 平成27年2月末日

収入の部				(単位 円)
科 目	予 算	備 考		
前年度繰越金	10,590,900			
会 費	12,000,000	<大学> 26年度 600名×20,000円=12,000,000円		
雑 収 入	500	普通預金利息		
計	22,591,400			

支出の部			
科 目	予 算	備 考	
同窓会総会	1,500,000	会場費、入会式及び卒業祝賀会費	
祝賀会及び入会式			
卒業記念品費	1,800,000	卒業生への記念品(ネームペン)	
印刷費	600,000	会報印刷	
通信費	1,000,000	電話代・切手代・会報発送料金	
事務消耗品費	700,000	事務用品他	
会議費	500,000	役員会、三役会、委員会(会報及びホームページ)、支部長会	
交通費	1,200,000	役員会、三役会、委員会(会報及びホームページ)、支部長会	
アルバイト費	880,000	アルバイト費(2名分)	
ホームページ管理費	252,000	年間管理費用(21,000円×12カ月)	
支部会開催費	550,000	支部の講演会及び懇親会費	
教育研究助成金	2,000,000		
大学祭への協賛費	40,000	大学祭協賛金	
大学祭への出店	150,000	食材費、装飾用品、大学祭手伝い交通費	
予備費	500,000		
次年度繰越金	10,919,400		
計	22,591,400		

平成 25 年度 同窓会総会・入会式 卒業祝賀会のご案内

場所 札幌グランドホテル 札幌市中央区北 1 条西 4 丁目

日時 2014 年 3 月 21 日 (金)

総会 別館 1 階 グランシェフ 16:30 ~

祝賀会 別館 2 階 グランドホール 18:00 ~ 20:00

申込 会報同封のハガキまたは電話、

FAX または e-mail でお申し込みください。

TEL (0123)34-2515 FAX (0123)25-5350

e-mail : tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

締切 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 必着

* 出席の申し込みがない方は、入場できません。



図：グランドホテルへのアクセス

掲示板

健康栄養学科 4 年生の米山知奈さんが、「ソチオリンピック女子アイスホッケー日本代表メンバー」に選出されました!!!

平成 25 年 12 月 4 日 (水) にソチオリンピック女子アイスホッケー日本代表最終メンバーが発表となり、フォワードとして健康栄養学科 4 年の米山知奈 (よねやま はるな) さんが見事選出されました。

学外実習等が多い健康栄養学科において、アイスホッケーのトレーニングと学外実習や管理栄養士の国家試験の勉強の両立をさせ、オリンピック代表選手になるという快挙を成し遂げました。

メダル獲得に向けて、スマイルジャパンの一員として活躍を期待するとともに、アイスホッケー最大の大会であるオリンピックという舞台を楽しんでもらいたいです。みなさんで応援しましょう!!!



編集後記

早いもので今年 (平成 25 年) もあと数日。先ずはこの場をお借りして、今号の会報制作にご協力いただいた全ての方々へ、厚く御礼を申し上げます。

北海道ではアベノミクス効果を実感できないでいるが、我が同窓会は数年前と比べ確実に活況を呈している。教育助成金の活用が始まり、大学祭の食券は即時完売。支部会も内容が凝ってきた (まさか馬に乗ることが出来るとは…)

残すところは同窓会総会。多数の出席者にじゃじゃじゃとなり、皆様をおもてなし出来るよう努める次第。出席の返事を出すなら今でしょ! 目標は半返しだ!

(文責: 熊野 彰俊)

北海道文教大学同窓会 事務局

〒061-1449
恵庭市黄金中央5丁目 196 番地 (大学内)
TEL (0123)34-2515
FAX (0123)25-5350
E-mail:tsurunokai@chic.ocn.ne.jp
www.tsurunokai.net

会報及びホームページ委員会

槌本 浩司 (食 26 期) 熊野 彰俊 (中国3期)
山本 由香子 (食 32 期) 須合 幸司 (健康栄養 1 期)
池内 朋弥 (健康栄養 2 期)
大谷 真希 (旧姓中川) (健康栄養 3 期)